

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | アパレル企業の脱成熟化戦略   |
| Sub Title        |   |
| Author           | 金徳展<br>奥村昭博   |
| Publisher        | 慶應義塾大学大学院経営管理研究科  |
| Publication year | 1998  |
| Jtitle           |   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            | 修士学位論文. 1998年度経営学 第1428号<br>可能  |
| Genre            | Thesis or Dissertation  |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1428">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1428</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

|  |        |      |          |    |      |
|--|--------|------|----------|----|------|
| 所属ゼミ   | 奥村 研究会 | 学籍番号 | 89728317 | 氏名 | 金 徳展 |
| (論文題名)   |        |      |          |    |      |
| <h2>アパレル企業の脱成熟化戦略</h2>   |        |      |          |    |      |
| (内容の要旨)  |        |      |          |    |      |
| <p>産業の成熟期とは産業発展の最後の段階ではなく、新しい発展と飛躍への中間段階であり、91 年以来停滞状態に陥っているアパレル産業においても脱成熟化は可能であるだろう。この様な問題意識の下、成熟期に達した個別アパレル企業の成熟に対する対応戦略と成果との相関関係を比較することによって、効果的な脱成熟化戦略を導出することを本稿の研究目的にしている。</p> <p>本稿では、この様な研究目的を満たす為、日本アパレル企業の中で、似通った事業構造を持ちつつも、正反対の経営成果を見せる 4 社を取り上げ、成熟期における成長戦略(脱成熟化戦略)を比較・検討する事例研究を行った。</p> <p>今までのアパレル企業の競争は、価格と品質だけに注目した画一的、同質的な方法に依存し、低コストと均質の品質競争に走らされ、個性と多様な商品供給には向かなかつた。すなわち、革新的な WHAT ではなく、平凡な HOW に偏った、戦略不在の経営だけを展開していたといえよう。</p> <p>事例分析の結果、アパレル企業の脱成熟化に有効な戦略は<b>価値創造型戦略</b>であり、有効な価値創造戦略を導出・実行の成功可否とスピードは各々の企業固有の<b>組織能力</b>に依存することを明らかにした。同時に、現在のアパレル業界において、価値創造型戦略の実践に一番有効な事業業態は<b>SPA 業態</b>であることを提示する。</p> <p>以上(の結果から)、本稿はアパレル企業の脱成熟化は可能であり、それは自社の戦略の練り直しによる価値創造型戦略と価値創造力を高める組織能力によって達成できることを主張する。このような能力を一言で言うと、各々の自己革新力(イノベーション力)のことである。</p> |        |      |          |    |      |